

2026年3月期 ミニディスクロージャー



TOMATO通信

第143期 営業のご報告
(2025年4月1日～2026年3月31日)



笠岡湾干拓地(笠岡市)

Top Message トップメッセージ



取締役社長 高木 晶悟

平素よりトマト銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび2025年度ミニディスクロージャー（営業のご報告）を作成いたしましたので、ご高覧ください。



2025年度の実績

国内経済は中東情勢への警戒感が高まるなか、堅調なAI関連需要や政府の経済対策による下支えを受け、緩やかな成長を続けていく見通しです。岡山県内の景気も中東情勢の影響が一部に見られるものの、総じて緩やかに回復しています。一方で深刻な人手不足や後継者不足、物価高に見合う賃上げや価格転嫁の実現などへの対応は喫緊の課題となっています。

このような環境下において、2025年度の業績は次のとおりとなりました。

業容につきまして、預金残高は定期預金のニーズが高まったことから、前期末比222億円増加し、1兆2,745億円となりました。貸出金残高は、中小企業向け貸出や住宅ローンなどが伸長した結果、前期末比179億円増加し、1兆805億円となりました。

損益につきまして、経常収益は資金運用収益の増加等により、前期比5.5%増の204億73百万円となりました。経常利益は、2025年4月に実施した人事制度改革に伴う人財投資や資金調達費用が増加したものの、役務取引等利益の増加等により、前期比12.7%増の25億75百万円、当期純利益は前期比12.6%増の18億25百万円となりました。



お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまへのメッセージ

当社は、本業支援・最適提案活動の実践を通じて、お客さまや地域の課題解決と夢の実現に真摯に取り組み、「いつも会って話せるあなたのメインバンク」を目指し、社内変革を原動力として人財力を高めることで企業価値向上に努めてまいります。先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代だからこそ、トマト銀行は地域やお客さまに寄り添った課題解決を実践しており、地域になくしてはならない銀行として、努力と挑戦を続けていきます。

お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまへのご期待に応えられるよう企業価値の向上を図ることはもとより、株主の皆さまには、日頃のご支援に感謝の気持ちを込めて新たに株主優待制度を導入させていただきました。

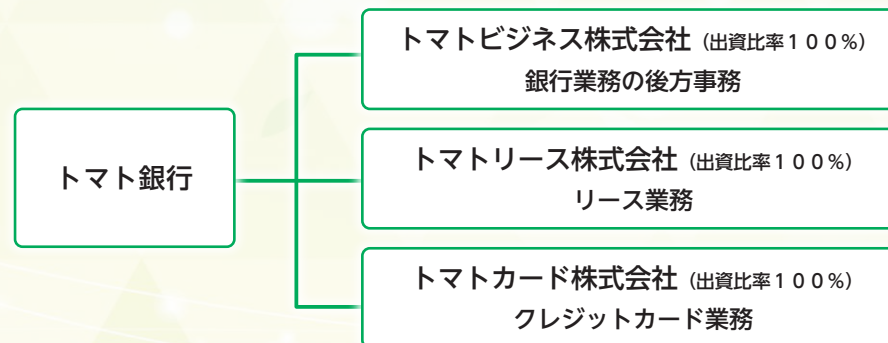
今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月

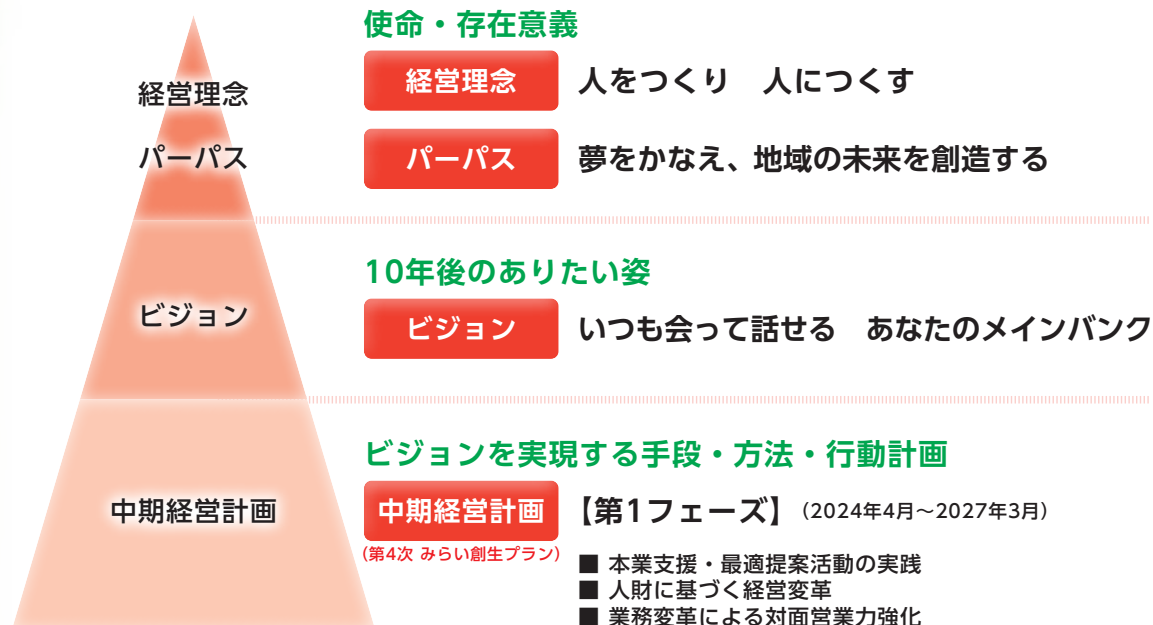
当社の概要（2026年3月31日現在）

本店所在地	岡山市北区番町2丁目3番4号
創立年月日	1931（昭和6）年11月9日
資本金	143億1,000万円
預金	1兆2,745億円
貸出金	1兆805億円
店舗数	61カ店 （岡山県53カ店、兵庫県4カ店、広島県・大阪府・東京都各1カ店、インターネット支店1カ店）
社員数	742名（嘱託・パート社員除く）
ホームページ	https://www.tomatobank.co.jp/

トマト銀行グループ



I 経営理念体系（パーパス・ビジョンの制定）



パーパス・ビジョンに込めた思い

トマト銀行の原点は、昭和恐慌の最中の1931年11月9日に「地域の飛躍」を目指して誕生した「倉敷無尽」です。

創業時より、地元から資金を集め、地元の資金が必要な人に融資する庶民の銀行として地元根差した経営を行ってきました。

1989年4月の普通銀行転換時には、地域の皆さまのより身近な存在としてありたいと、社名を「トマト銀行」へ変更する等、私たちは時代と共に柔軟に変化してきました。

これまでの歴史の中で、数多くの困難もありましたが、社員の努力と地域の皆さまに支えていただき、今があります。

政治、経済、社会情勢が目まぐるしく変化し、人々の行動様式や考え方が大きく変わり、銀行に求められる役割も変わっています。不確実性が高まる時代だからこそ、当社の存在意義、10年後のありたい姿を全役職員で改めて考え、パーパス（存在意義）とビジョン（10年後のありたい姿）を制定しました。

2031年の創立100周年に向け、私たちは創業時の「相互扶助」の精神を忘れず、「人と人をつなぐ、人の想いを未来につなぐ」人財を育成し、地域の皆さまのために変化と挑戦を続けることで、トマト銀行に関わるすべての人にとって「地域になくてはならない銀行」としてあり続けます。

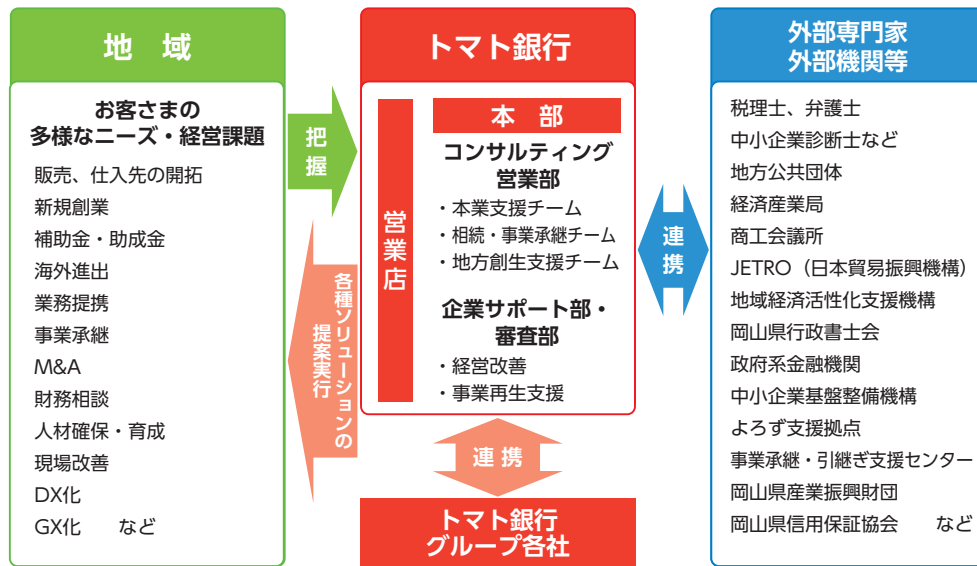
I 中期経営計画（第4次 みらい創生プラン）の基本戦略・経営目標（単体）



目 標 項 目	2025年度実績	2026年度目標 (中期経営計画目標)
コア業務純益 (投信解約損益を除く)	32億円	32億円
当期純利益	18億円	19億円
自己資本比率	9.04%	8%以上
OHR (コア業務粗利益ベース)	77.3%	75%程度
ROE＜連結＞ (当期純利益ベース)	3.47%	中長期に5%を 目指します

I 法人のお客さまへの 本業支援

お客さまの経営課題・ニーズに応じた事業・財務の本業支援を実践しています。



I 個人のお客さまへの 最適提案

お客さまのライフプランに合わせた最適な商品・サービスを提供しています。



事業・財務の本業支援



本業支援アクション先活動報告会

営業店・本部がお客さまと一体となって作成した「経営レポート（事業性評価シート）」に基づきお客さまと経営課題を共有し、課題解決に向けた各種本業支援策の実施や資金繰り・資金調達構造の改善等に取り組んでいます。また、役員、本部関係部署、営業店がお客さまの経営課題解決に向けたソリューションを検討する「本業支援アクション先活動報告会」を定期的に開催しています。

危機事象発生における業務連携



危機事象発生における業務連携に関する覚書調印式

危機発生時に、お客さまに対して切れ目のない金融サービスの提供を可能にするとともに、早期の事業者支援・災害復旧に貢献できる体制を整備することを目的に、日本政策金融公庫岡山支店と「危機事象発生における業務連携に関する覚書」を締結いたしました。

災害時の一時的な施設の相互利用等、業務継続体制の向上を図ることで、危機発生後の迅速な金融支援機能の発揮に繋げてまいります。



「ライフプラン特設サイト」をオープン!

「ライフプラン」とは、ご自身やご家族のため、将来の夢や退職後の生活等目的を実現するための準備として計画を立てることです。

お客さまのライフイベントや将来設計に応じたお悩み等に対して、ホームページの特設サイトでコラムや各種商品などをご案内しています。



トピックス

▶日頃の感謝を込めて株主優待制度を導入しました！

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への魅力を高め、より多くの株主の皆さまに当社株式を保有していただくことを目的に株主優待制度を導入いたしました。

株主優待制度の概要

● 500株以上を1年以上継続保有の株主さまが対象

● 保有株式数に応じてQUOカードを贈呈



※画像はイメージです

保有株式数	優待品
500株以上 1,000株未満	QUOカード 1,000円分
1,000株以上 5,000株未満	QUOカード 3,000円分
5,000株以上 10,000株未満	QUOカード 5,000円分
10,000株以上	QUOカード 10,000円分

▶「トマト銀行アプリ」でもっと手軽に！簡単に！



No.1
利用頻度

かんたん残高・
入出金明細・
定期預金明細照会

残高・入出金明細・定期預金
明細の確認が、いつでも・
どこでもスマホからできます！

No.2
利用頻度

ローン残高照会・
返済予定表照会機能

お使いいただいているローンの
残高照会・返済予定表照会が
簡単便利に！

No.3
利用頻度

店舗・ATM検索・
各種ログイン

店舗・ATM検索や各種サ
ービスのログインができます！

ウォレット機能
「WalleToma(ウォレトマ)」

WalleTomaによりスマ
タッチ決済、ネット支払、
送金、お引出しが可能に！

各種お申込み・お手続き

来店不要で各種お申込み・お
手続きができます！通帳レス口座
への切替、各種ローンのお申込み、
住所変更をスマホから！

トマト・スマート通帳

他金融機関口座、クレジット
カード、電子マネーの一括管理
ができます！

アプリのダウンロードはこちらから

iPhoneをご利用の方



Androidをご利用の方



・Apple、Appleのロゴ、App Storeは、米国
およびその他の国で登録されたApple Inc.
の商標です。
・Google Play、Google Playロゴ、Android、
AndroidロゴはGoogle LLCの商標です。
・QRコードは、(株)デンソーウェブの登録
商標です。



サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ方針

トマト銀行グループは、「経営理念」に基づく企業活動を通じて、サステナビリティを巡る課題解決に取り組むことで、地域社会・環境の持続的な発展に貢献していくとともに、トマト銀行グループの中長期的な企業価値の向上と持続可能な成長を目指してまいります。

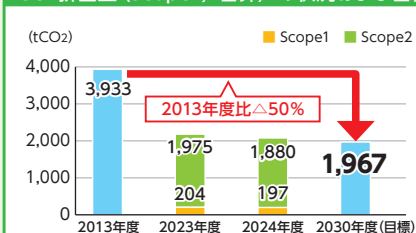
2021年12月

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同

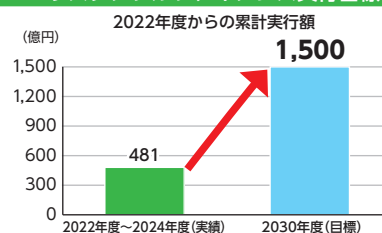
TCFD
TASK FORCE ON
CLIMATE-RELATED
FINANCIAL
DISCLOSURES

2023年3月に「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」提言への賛同を表明しており、気候変動対応に関する取り組みと情報開示を行ってまいります。

CO2排出量（Scope1,2合算）の状況および目標



サステナブルファイナンス実行目標



業務を通じた環境への取り組み



トマトSDGsエコ定期預金
贈呈式

森林整備や緑化推進などの環境保全活動にお役立ていただくため、「トマトSDGsエコ定期預金」のお預入総額の0.1%（上限30万円）を「緑の募金」（公益社団法人岡山県緑化推進協会）へ2009年より毎年寄付しています。また、2025年9月には、法人および個人事業主のお客さまを対象に「トマト帳票電子交付サービス」の取り扱いを開始しています。引き続き環境への取り組みを推進してまいります。

トマト・デジタルサイネージ広告



各店舗に設置しているデジタルサイネージ（映像表示モニター）で、金融商品などに関する情報の放映に加え、新たにお取引先の商品・サービスのPRや地域へのメッセージの発信にご活用いただくことができます。

●自治体のSDGs登録制度への賛同状況

岡山市：岡山市SDGs推進パートナーズ
倉敷市：倉敷市・高梁川流域SDGsパートナー
真庭市：真庭SDGsパートナー制度



岡山市SDGs
推進パートナーズ



サステナビリティへの取り組み

地方創生への取り組み



寄付型私募債 贈呈式

●トマトSDGs私募債

お客さまよりいただく私募債発行手数料の一部を活用して、地域の学校や自治体等へ寄付や物品を寄贈するトマトSDGs私募債を取り扱っています。

- ▶寄付型
(教育応援、地元スポーツチーム応援、地方創生)
- ▶内容型 (環境対応、BCP対応)

真庭市デジタル地域通貨「まにこいん」



2023年1月からサービスを開始した真庭市デジタル地域通貨「まにこいん」は、真庭市内で使えるデジタル地域通貨で、スマートフォンのアプリにより加盟店で電子決済や地方税統一QRコードを利用した税納付に対応しています。2024年2月より「健康管理機能」を追加しており、2026年3月にはユーザー数が3万9千人を超え、真庭市の人口規模のユーザー数となる等多くの市民に利用されています。

スポーツ支援の取り組み



ファジアーノ岡山 チーム強化資金贈呈式

スポーツを通じた地域貢献活動として、地元のサッカーチームやバスケットボールチームを応援するため、お預入総額に応じてチーム強化資金を贈呈する応援定期預金などを取り扱っています。



おokayama共創パートナーシップ

連携協定に基づく取り組み

トマト銀行、中国銀行、日本政策金融公庫、岡山県信用保証協会の連携協定「おokayama共創パートナーシップ」では地域経済の活性化に向け、さまざまな取り組みを行っています。

- 2025年 7月 創業支援に関する勉強会の開催 (事業者支援機関向け)
- 2025年 9月 脱炭素ワークショップカードゲーム研修会の開催
- 2026年 1月 第6回おokayama共創アグリセミナーの開催

金融教育への取り組み

2025年6月にイオンモール岡山にて開催された「ワニーサと学ぶ未来のためのお金の教室」に出展しました。「トマト銀行クエスト」と称して、お金にまつわるクイズやお金の重さ当て、ぬり絵体験等、多くのご家族連れにお金や銀行の役割について、理解・関心を深めていただきました。また、2025年8月には地域の小学生等の皆さまを対象に「夏休み！トマト銀行子ども探検隊」を開催する等、幅広い金融教育活動を行っています。



ワニーサと学ぶ未来のための
お金の教室

健康経営への取り組み



「トマト銀行健康経営宣言」を策定し、定期健康診断・人間ドックの100%実施などに取り組んでいます。また、「健康経営優良法人認定制度」において、特に優良な健康経営を実践している企業として「健康経営優良法人2026 (大規模法人部門)」に認定されています。

ダイバーシティ推進への取り組み

2024年3月、岡山県が登録する「おokayama子育て応援宣言企業」のうち、特に積極的な取り組みを実施している企業として「アドバンス企業」に認定されています。



【女性活躍推進の行動計画】 計画期間：2021年4月1日～2026年3月31日

定量的目標	2026年3月末 (実績)	2026年3月末 (目標)
係長以上に占める女性の割合	17.41%	20%
女性の融資係・渉外係	48名	50名
男性の育児休業取得率	100%	80%以上
所定外労働時間 (月平均)	12時間59分	10時間以内

マネー・ローndリング及びテロ資金供与対策に関する取り組み

金融庁により公表されたガイドラインに基づき、マネー・ローndリング及びテロ資金供与の防止が国内のみならず国際的にも要請されている重要課題であることを認識し、これらの課題に厳正に対応するため、「マネー・ローndリング及びテロ資金供与の防止に関する基本方針」を定めて、適切な管理体制の構築に努めています。



特殊詐欺等被害防止に関する協定
締結式

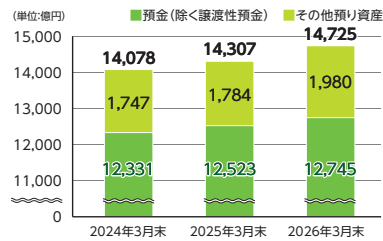
2025年6月、岡山県警察との間でより高い信頼関係と協力関係を構築し速やかな情報共有を図るため、「特殊詐欺等被害防止に関する協定」を締結するなど、お客さまの大切な資産をお守りするための対応をしています。

2026年3月期 業績ハイライト (単体)

- ・預り資産残高は、預金残高の増加に加え、資産運用ニーズの高まりを背景に個人年金保険・投資信託の残高も増加したこと等により、前期末比417億円増加し1兆4,725億円となりました。
- ・貸出金残高は、地元中小事業者向け融資や住宅ローン等の個人ローンが増加したこと等により、前期末比179億円増加の1兆805億円となりました。
- ・コア業務純益は役務取引等利益の増加により前期比54百万円増加の32億92百万円となりました。
- ・経常利益は、株式等関係損益が減少したものの、業務粗利益の増加や与信関連費用が減少したこと等により、前期比290百万円増加の25億75百万円となりました。

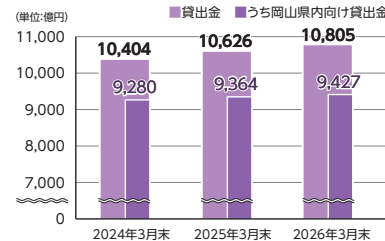
預り資産

14,725億円
(前期末比+417億円)



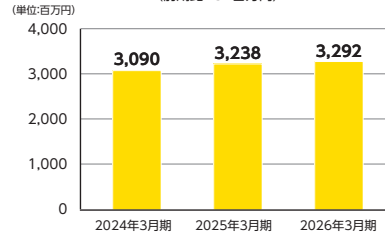
貸出金

10,805億円
(前期末比+179億円)



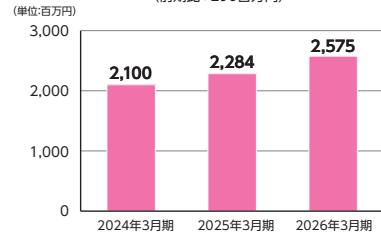
コア業務純益

3,292百万円
(前期比+54百万円)



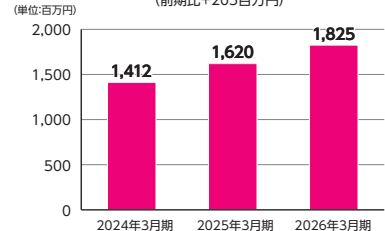
経常利益

2,575百万円
(前期比+290百万円)



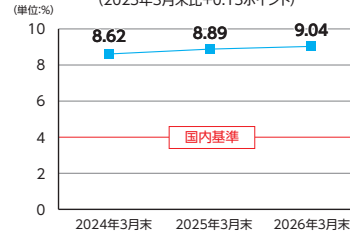
当期純利益

1,825百万円
(前期比+205百万円)



自己資本比率

9.04%
(2025年3月末比+0.15ポイント)



役員 (2026年6月26日現在)

取締役社長 (代表取締役)	高木 晶 悟	取締役	中川 一 雄	常勤監査役	光 實 潤 一
専務取締役 (代表取締役)	井上 正 樹	取締役	八木 大 治	監査役※2※3	奥 田 哲 也
専務取締役 (代表取締役)	田部 真 康	取締役※1※3	小 川 洋	監査役※2※3	古 南 篤 子
常務取締役	坪田 泰 久	取締役※1※3	上岡 美保子	監査役※2※3	瀧 口 信 雄
常務取締役	谷 本 浩 二				

※1は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。 ※2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
※3は、東京証券取引所へ届出を行っている独立役員であります。

株式の状況・株式のご案内 (2026年3月31日現在)

株式の状況

- 発行済株式総数 … 12,679,030株 (普通株式11,679,030株、第2回A種優先株式1,000,000株)
- 株 主 総 数 … 10,248名 (普通株式 10,226名、第2回A種優先株式 22名)

株式のご案内

- 決算日 … 毎年3月31日
- 定時株主総会 … 毎年6月に開催します。
- 基準日 … 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- 公告方法 … 電子公告とします。
インターネットホームページ：https://www.tomatobank.co.jp/
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および岡山市において発行する山陽新聞に掲載して公告します。

- 株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
- 株 主 名 簿 管 理 人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事 務 取 扱 場 所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電 話 照 会 先 ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社へお願いします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】
株主電子化前に「[ほふり]」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いします。

<単元未満株式の買取または買増請求について>
単元未満(100株未満)の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。そのお手続きを希望される場合には、単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている株主様はお取引の証券会社等へ、特別口座に記録されている株主様は特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行株式会社 ☎0120-782-031)へ、それぞれお申し出ください。

岡山県 笠岡市

笠岡市の南は瀬戸内海、北は緑に囲まれており、温暖小雨で災害も少なく、とても住みやすい環境のまちです。

笠岡市

笠岡ラーメン

古くから養鶏場が多かったことから親鶏の肉を有効に利用してきた笠岡のご当地ラーメンです。鶏ガラベースの醤油スープに煮鶏のチャーシューがトッピングされている事が特徴です。



笠岡湾干拓地の花畑

3～4月にかけては約1,000万本の菜の花が咲き、4月下旬～5月には約1,000万本のポピー、夏には約100万本のひまわり、秋には約3,000万本のコスモスが咲き誇ります。四季を通じて、スケールの大きい花畑を満喫できます。



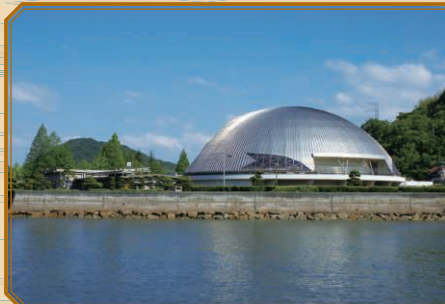
笠岡市立竹喬美術館

笠岡市出身の日本画家で文化勲章受章者の小野竹喬（おの ちっきょう）は14歳から89歳にいたる75年間の画業を通して、日本の自然の美しさを描き続けました。ご遺族から寄贈された多くの遺作をもとに、偉大な功績をたたえ、それを後世に伝える目的で開館した美術館です。



笠岡市立カブトガニ博物館

国指定天然記念物・カブトガニの繁殖地である笠岡市の神島水道に面した、世界で唯一のカブトガニをテーマとした博物館です。建物はカブトガニをイメージした形状をしています。



菅原神社眼鏡橋

菅原神社は江戸時代の干拓によってできた吉浜地区の氏神として造営されたといわれています。境内の御手洗池にかかる眼鏡橋は、全国的にも珍しい全円アーチの石橋で岡山県の重要文化財に指定されています。



笠岡諸島

岡山県の南西部に位置し、大小31の島々があり、多くは瀬戸内海国立公園に指定されています。このうち高島、白石島、北木島、真鍋島、大飛島、小飛島、六島の7島に人々が暮らし、石材業や漁業・観光業など、島ごとに異なる営みが受け継がれています。



古城山公園

笠岡市街地と富岡干拓の間、高さ60.8mの小山にある公園です。山頂からは笠岡市街地が一望できるほか、目の前には日本でも有数の笠岡湾干拓が広がり、素晴らしい展望が楽しめます。また、春には約400本の桜が咲きます。



出典・写真提供：岡山県観光連盟

